

(5) 海洋性レクリエーション活動への支援 プレジャーボートの収容

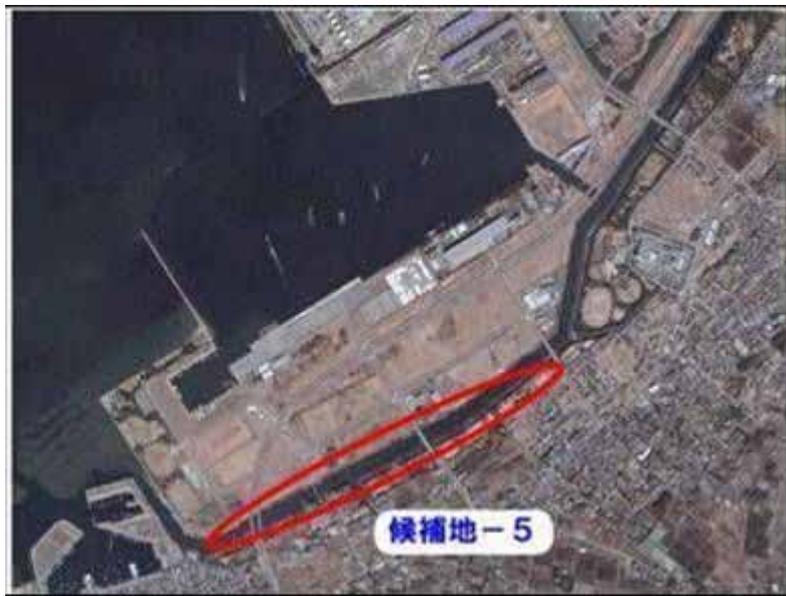
木更津港に係留されているプレジャーボートは 680 隻(H19.11 調査)となっており、うち
 放置艇は 478 隻である。

これらの放置艇を収容するにあたり、係留可能な水域は以下のとおり想定した。

今回の計画においては、活用できる水域は最大限活用し、効果的な収容計画とする。

候補地比較

| | 長 所 | 課 題 |
|--|--|--|
| 水域占用許可 66 隻 | 水域占用許可により 66 隻の収容が可能である 比較的静穏な水域である | 棧橋が無いのため、渡船を利用する必要がある |
| 水域占用許可 169 隻 | 水域占用許可により 169 隻の収容が可能である 静穏が確保されている | 桁下空間の関係で、小型船の利用となる 水深が浅く、干潮時には利用しにくい |
| 候補地 - 1 約 50 隻 | 市街地に近く利便性が良い 中の島大橋、土産店、レストラン等の観光施設と近くビジター利用に向く 静穏が確保されている | 収容隻数が限られる |
| 候補地 - 2 約 30 隻 | 漁船だまり内の空きスペースを活用できる 自衛隊前緑地の有効利用が図れる | 西風が強いと波除堤の越波があるので静穏度確保の対策が必要 収容隻数が限られる |
| 候補地 - 3 約 190 隻 | 既定計画で 190 隻の収容が位置づけられている 現在放置艇がある場所であり、放置艇対策に効果大 | 桁下空間の関係で、小型船しか入れない 水深が浅い |
| 候補地 - 4 | 十分な水域が確保できる | 既設の橋梁の桁下空間(約 4.5m)により係留できる船舶が限定される 貯木水面利用者との調整が必要 |
| 候補地 - 5 約 60 隻から 約 300 隻まで 拡大の可能性あり | 既定計画で 60 隻の収容が位置づけられている 現在放置艇がある場所であり、放置艇対策に効果大 港湾緑地の駐車場・トイレを活用できる | 周辺の放置艇 278 隻に対し、規模が小さい 拡大には、桁下空間や水深不足の問題がある |



(6) 快適な港湾環境の創造 緑地の整備

吾妻地区には都市公園も含め多くの緑地が整備されている。しかし、緑地が点在しネットワーク化されていない。そこで、各緑地をネットワークさせ、安全な歩行者動線を確保するため、候補地として以下の2地区を想定した。

候補地比較

| | 長 所 | 課 題 |
|---------|--|----------------|
| 候補地 - 1 | 駅から一番近い位置に配置されシンボリックな利用が図れる 中の島公園等への人の動線に連続性ができる。 | 係留施設との調整が必要となる |
| 候補地 - 2 | 内港緑地への連絡が確保されるので、内港全体の緑地の回遊性が確保できる 市街地前面であり利便性が良い | 係留施設との調整が必要となる |



6 - 3 地区別利用構想案

| | 利用構想案 - 1 | 利用構想案 - 2 |
|------------|---|---|
| 配置の基本的な考え方 | <p>プレジャーボート：内港入口部既設防波堤裏と漁船だまりの空きスペースを活用</p> <p>交通船等：西側（旧フェリーふ頭側）に配置</p> <p>緑地：市街地前面にも配置し、交流拠点、既存緑地との連続性・回遊性を確保</p> <p>交流拠点：駅から一番近い位置に配置</p> <p>ガット船：既設の岸壁の前面に配置</p> | <p>プレジャーボート：市街地前面の緑地前に配置するとともに、漁船だまりの空きスペースを活用</p> <p>旅客船：緑地・交流拠点前面に配置</p> <p>交通船等：西側（旧フェリーふ頭側）に配置</p> <p>緑地：市街地前面にも配置し、交流拠点、既存緑地との連続性・回遊性を確保</p> <p>交流拠点：駅から一番近い位置に配置</p> <p>ガット船：貯木場整理水面に配置</p> |
| 長所 | <p>駅から一番近い位置に緑地・交流拠点が配置でき、シンボリックな利用が図れる</p> <p>イベント時等には、緑地・交流拠点前の岸壁で旅客船等の利用が可能</p> <p>ガット船の係留場所確保と内港の整備が同時に行えるため経済的</p> | <p>駅から一番近い位置に緑地・交流拠点が配置でき、シンボリックな利用が図れる</p> <p>旅客船専用ふ頭と緑地・交流拠点が一体的に活用できる</p> <p>市街地前面に旅客船ふ頭とプレジャーボートが配置されるので、これを活かした景観形成が可能</p> |
| 課題 | <p>ガット船と小型作業船、プレジャーボートが混在するので、船舶の輻輳がある</p> <p>ガット船のための水深確保には、航路・泊地の浚渫が必要になる</p> | <p>老朽岸壁の再整備がガット船の係留場所を確保した後になる</p> <p>ガット船の小型船だまりを別途整備するため事業費が大きくなる</p> |
| 利用構想図案 | | |